



# 二大年中行事見ごとにお花

## 町民運動会・文化祭

春からの希望であった二大行事が成功裡に終了いたしました。町民運動会は当初予定しました十月十四日が雨に流れ、二十一日開催となったのでありますが、幸い天候もどうやら持ちなおし、予想以上のすばらしい盛り上がりを見せました。六チーム対抗の得点争いも、終始少差ではらばらする場面の展開が続きました。スポーツ振興による町づくり運動の一環として、ついに実を結んだことを心より喜ぶものであります。

文化祭は両日とも絶好の日和に恵まれ、これ又大成功でありました。本年は特に小学校の開校百周年、郵便局の開局百周年の記念展示もあり恒例の県下柔剣道大会(第十八回)一般並に中学生の駅伝競争、園芸クラブによる菊花、盆栽の展示即売会、更に長寿大学

町民運動会成績  
 優勝 矢代田チーム  
 二位 天ヶ沢、鎌倉  
 三位 新部下組  
 四位 新部電  
 五位 横水チーム  
 六位 町部上組

駅伝大会入賞者  
 優勝 陸上競技B  
 二位 陸上競技A  
 三位 野球クラブ  
 四位 美嶋ニット  
 五位 陸上競技A  
 六位 卓球クラブ

区間賞  
 一 区 五十嵐 善彦  
 二 区 石本 秋儀  
 三 区 鶴巻 又一



一にぎやかさをます柔道大会

- 町民賞 高橋松三郎  
 農協会長賞 横山三雄  
 農協副会長賞 佐野吉二郎  
 一 等 保科三志郎  
 二 等 丸山 松夫  
 三 等 上田 きぬ  
 他 小林 恭一  
 他十八名
- 第十八回県下柔剣道大会  
 柔道の部 一般団体  
 栄三  
 正三  
 輝昭

- 優勝 白根市柔道連盟  
 二位 水原柔道クラブ  
 三位 加茂農林高校  
 四位 小須戸柔剣振  
 五位 新津第一中学校  
 六位 小須戸中学校  
 七位 小須戸中学校  
 八位 白根中学校
- 優勝 白根柔道教室  
 二位 一隆会  
 三位 新部田スポーツ  
 四位 小合剣道振興会  
 五位 小合剣道振興会  
 六位 小須戸柔剣振  
 七位 白根市剣連  
 八位 中學生の部  
 優勝 三条立志館  
 二位 小須戸中A  
 三位 小須戸中B  
 四位 白根中  
 五位 小學生の部  
 優勝 三条立志館  
 二位 三条立志館  
 三位 大郷少年剣士  
 四位 入道瀬スポーツ  
 五位 新郷商業A  
 六位 新郷商業A
- 優勝 白根高校A  
 二位 加茂曉星高  
 三位 新郷商業B  
 四位 女子中学生の部  
 優勝 大郷中学校  
 二位 小須戸中A  
 三位 小須戸中B  
 四位 小須戸剣振A

# 青年団今昔物語

連青 O・B

青年団というものがどういふ趣旨と目的で作られ、活動してきたかは知らないが、少なくとも現代のライリグからして、時代遅れの感がある名前そのものからくるイメージかと思うのだが、数十年間続いた訳はなんだろうか。

時代に即した要求と夢があったものと思ふ。まず、昔の彼等の事を考えて見ると、足がなかつたためではないだろうか。今のようになら、どこかの家でも必ず一台や二台の車がある時代と違つて、せいぜい良くても自転車程度であつたと思う。これではおのずから行動範囲が決まつてくるというものだ。隣り村のオネサの所へ行くにも自転車、デイトといえ田んぼのアゼ道………今は新潟市まで三十分

で一つ飛び、又、喫茶店等は乱立、何の不自由もないときている。どつちの世代が幸せだろうか。僕は僕なりに夢と希望を持って活動してきた。だが、めまぐるしく移り変わる現代社会と職業の多様化、そして交

小須戸町の場合、地区青年団と、その連合体がある訳だが彼等の残した足跡は偉大なものではないだろうか。我々が、先年に行なつたアンケートの際に、我々の活動を痛烈に批判した人達が一部にあつたが結論ではないが、青年団というものが、別の意義と目的が要求される時ではないだろうか。その時点で、もし自分の子供を人団させたくなければ若者のせいではなく大人の責任であると思ふ。甘やかせというのでは、子供は親を見て育つという事で、自信を持って指導願いたい。青年団とかくの批判があつたとしても、彼等は彼等なりに一生けん命やつたことをご理解頂けたら幸いと思ふ。



矢代田小二年 土田隆博

夏休みに、かぞくでにいがたのひこうじように行きました。すこしたつと、小さいころうかがきました。おとうさんが、「あれは、さだからきたんだよ。」とおとうさんをつれてガラスのそばにきて、よくひこうきを見ていたら、十五人ぐらゐりてきました。思ったより小さいでした。

すこしまつと、こんどは大きいひこうきがとぶのを見て、赤いランプがついて、大きく回り、うごきました。

おかあさんが、「大ぜいのせて、おもそうだね」と、いきました。ぼくは、「うん」といきました。おとうさん、弟もぼくのまねをして、「うん」といきました。ぼくは、「百人ぐらゐるのだから」といきました。おとうさんが、「あ、そのひこうきは、百五十人ぐらゐるんだよ。」といきました。ぼくは、「おとうさん、さだからきたんだよ。」といきました。

おかあさんが、「大ぜいのせて、おもそうだね」と、いきました。ぼくは、「うん」といきました。おとうさん、弟もぼくのまねをして、「うん」といきました。ぼくは、「百人ぐらゐるのだから」といきました。おとうさんが、「あ、そのひこうきは、百五十人ぐらゐるんだよ。」といきました。ぼくは、「おとうさん、さだからきたんだよ。」といきました。

おかあさんが、「大ぜいのせて、おもそうだね」と、いきました。ぼくは、「うん」といきました。おとうさん、弟もぼくのまねをして、「うん」といきました。ぼくは、「百人ぐらゐるのだから」といきました。おとうさんが、「あ、そのひこうきは、百五十人ぐらゐるんだよ。」といきました。ぼくは、「おとうさん、さだからきたんだよ。」といきました。

分館だより  
 横水分館では、十一月二十五日、町民体育館において、部対抗球技大会を開きます。

こぼればなし！  
 二十一日早朝のはげしい雨……町民運動会は又お流れと誰もが思ったらしい。矢代田チームでは一たん役員が集合したが、あきらめて散会したとか。六時半、大会関係者もグラウンドに集まつて思案投、折から顔を見せた間野館長が、「弥彦山が見えるじやないか。よしやろう」と鶴の一声で決定が大へん、有線が流すやら広報で呼びかけるやら至るまで賑わわんや。

文化祭  
 十月二十八日(日)一足さきに矢代田分館では矢代田小学校を会場に文化祭が開かれました。生徒作品、部活の展示、パズルなどで、一日楽しき祭りであり、多数のおとずれました。

火災のシーズンです 充分なご注意を！  
 昭和四十八年秋火災予防運動が実施された。この運動は火災多発期を迎えるにあたり国民ひとりひとりの防火意識の向上を図り、火災発生時の防上と人命被害の軽減を期することを目的とします。

転居は郵便局へも届けを！  
 あわただしい年の暮れが近づきました。歳暮や年賀で郵便物もふえてきますが、一番困るのは、届けを出さずに転居された人あての郵便物です。せつかくのお便りが配達不能として、差出人に戻されることになり、役場へお届けの届は、役場の方へもどうぞ。

文化祭句会報 小須戸町俳句同好会  
 熟れ初めし無花果孫と分ち食う 良遊  
 刈田道全く通る人もなく 香月  
 置き去りの釘箱秋の雨注ぐ 虚秋  
 窓ふさぐ糸瓜夜空をすかし見つ 芳人  
 秋晴れや山より大奔りくる電線 太浪  
 冷やかな日輪ストの貨車汚れ 越松  
 秋天に新居の足場解かれゆく 静花  
 末なりのキウリ曲りて赤とんぼ ひさ  
 あけびの実山寺の石段なお険し きよ  
 畑ごとの黄菊めだちきて露雨 櫻男  
 コスモスの踊るが如く揺れ交す 碧水

会津立木観音 出雲町 我妻清作  
 人影もなき塔寺の駅に降り落葉踏みつつ心冷えゆく  
 だきつぎの桂に染みぬ人肌の脂の匂ひかなしみする  
 自からのほかなきさだめ願ひつつ立木観音おろがみにけり

ありがたいうち  
 新潟小須戸会、青山にお住いの伊藤定次郎さんとより、送料の一端にも金一封のご寄附がありました。又下所島の小林三治さんより、毎月新潟市報を送っていただいております。深く感謝いたします。

購入図書  
 ◇われら旗本愚連隊 柴田錬三郎  
 ◇日本と中国の二千年 上・下 中村新太郎  
 ◇さらばわが愛 佐伯 千秋  
 ◇山と高原と湖の詩集 新川 和江  
 ◇花あみずの詩 清川 妙  
 ◇探偵ゲーム 藤原宰太郎  
 ◇天国にいちばん近い鳥 森村 桂  
 ◇愛のかたち 高田好胤  
 ◇道 坂口安吾

寄贈図書  
 ◇相田洋殿より 相田洋殿より  
 ◇風車小屋便り ドーデ  
 ◇愛と死との戯れ ロマン・ローラン  
 ◇雪国 川端 康成  
 ◇羅生門 他芥川龍之介  
 ◇死のごとく強し モーパッサン  
 ◇岩崎サワ殿より 岩崎サワ殿より  
 ◇恍惚の人 有吉佐和子  
 ◇人間革命 全八巻 石井良吉殿より  
 ◇おたごの校長 池田 大作  
 ◇ふたごの校長 片岡 要一  
 ◇片岡 喜一